



広報みすず

6
2018

第452号

美鈴が丘まちづくり協議会



フラワーフェスティバル

5/3

◆前日の雨で天候が心配されたが何とか晴れて、今年も盛大にフラワーフェスティバルが開催された。美鈴が丘まちづくり協議会は、今年も5月3日開催の花の総合パレード「折りづるみこし連」に全43基中の3基の折りづるみこしで出場(今年で9回目の参加)。お揃

いの青いTシャツと「美鈴が丘」のグリーン帽子で身を包み、美鈴が丘高校あすなる会の生徒と児童達が掲げる「元気な美鈴っ子」の横断幕を先頭に、児童・生徒大人総勢133人(小中学校生45人、高校生23人)で平和大通りを行進した。今年は大勢の子ども達が集まって

くれ大変盛り上がったイベントとなった。沿道には県内外からの大勢の観光客が見守る中を「わっしょい、わっしょい」と大声で叫びながら行進する醍醐味は格別で、参加する人だけが味わえる特別の高揚感と感動を与えてくれた。3基のみこしは青少協、子ども育成部、キッズサポートクラブ及び美高生らで力を合わせて作成された。

◆3日のステージではOB会銭太鼓愛好会チームが9年連続の出場。9人で「美鈴音頭」など4曲を披露した。また野外会場ではヒップホップダンス「スマイル」が7回目の出場。切れ味の良い演技を披露し大きな拍手と喝采を受けた。5日にはダンスグループ「みくくすANGEL」が、49団体がエントリーしたステージ部門で「フラワー&テクニク賞」を受賞した。



児童が引っぱる折りづるみこし



OB会銭太鼓愛好会



あすなる会



折りづるみこし制作メンバー



みくくすANGEL



ヒップホップ スマイル

★組長・班長さんをお願い！一軒ずつ戸別配布してください！

◆防災会議 5/11

防災部・町内自主防
災会合同会議

防災部と町内自主防
災会の役割の明確化及
び30年度事業計画案が
報告された。こ
の中で特に災害
発生時の準備と
して、災害が発
生したとき、行
政の体制が整い
本格的に救済活
動が開始される
迄の、2、3日
間をどの様にし
て生き延びるかを各町
内会で検討しておく事
が重要である。危険区
域や要援護者の存在、
連絡方法と体制、避難

◆美鈴が丘学区防犯組
合30年度総会 4/28

決算報告・事業計画
を承認の後、森野組合
長を再任。ガードボラ
ンティアも構成員に加
え議決権を持つように
規約を改正。各街区に
青パトも導入して美小
の新入生90人を含め全
校523人を見守る体制を



自分達でどう生きるか？

場所などは各町内毎に
違っている筈の為、自
分の処の個別事情をよ
く認識した対応策を考
えておく事。まずは自
分と家族の命を守る。
そして近隣の住民と連
携した行動をどうとる
かを検討しておくこと
が重要である。など真
剣に討議された。

(山本)

更に強化し、安全安心
なまちづくりに取組む。



終了後は全員で町内パトロール

◆クリーンキャンペーン
(一斉清掃) 5/13

朝からの雨も上がり、町内一斉清掃が実
施された。班ごとに担
当場所に集まり清掃開
始。落ち葉や雑草が濡
れていて、作業が大変
だったが、和気あいあ
いと皆の協力であつと
いう間に沢山のゴミ袋
が集り活動終了。この
日は小さな子ども達も
多く、可愛らしい手で
一生懸命お手伝いする
姿はとても微笑まし
かった。毎回感じる事
だが、故意に捨てられ
たゴミはなく、住民の
マナーの良さを誇らし
く思う。町全体がきれ
いになり自分達の心も
清々しくなれる大切な
ひと時だった。(片寄)



全員でゴミの無いきれいな街へ

◆小学校の北斜面の
草刈り 5/20

6年前から小学校北
の通学路階段周辺で、
桜、紅葉を植樹。今回は、
そのまわりを埋め尽く
す緑のジャングルと格
闘。ボランティア24人
で草刈りをした。(小川)



草刈りが済んでも余裕の笑顔

◆おとなりさん祭り
ら・ふいつとハウス 4/28

焼きそば、たこ焼き、
から揚げなどの屋台が並
んで賑やかに開催。近隣
住民の触れ合いの場の提
供となっていた。ビンゴ大
会に子ども達は盛り上が
り歓声を上げていた。(山本)



ビンゴ大会で盛り上がり！

町内会を考える(連載②)

温もりのあるまちを目指して

町内会の役員をみると、多量の回覧物の整理
や様々な行事の世話・参加、さらには募金や町
内会議などで大変忙しい思いをするとの声を聞
きます。確かに業務量は多いので各役員が分担
して負担を減らすなどの工夫が必要ですが、な
ぜ町内会の仕事が多いのでしょうか。それは町
内会の歴史に根源があります。町内会の歴史的
原型は諸説ありますが、古代律令制下の五保制、
秀吉時代の五人組にあり、封建体制の下で連帯
責任・相互観察・相互扶助の統治の末端組織と
して役割を果たしていました。警察国家体制下
の行政組織(役人)は少人数ですから、庄屋や
名主などが半官半民の立場で統治の役割を担い、
江戸時代においても目明し・岡っ引きが市中を
取締まるなど(町内)が行政の役割を果たして
います。明治以降においてもこの体制は統治に
積極的に利用されており、戦後も引継がれたこ
とにより、お上のお達しを受け入れる素地が生
活の中に定着しているのです。今後、負担軽減
のために町内会の業務を行政がやればよいと考
えるかもしれませんが、昨今の財政難から肥大
化する行政組織はあり得ませんし、本来、行政
は多様化した市民ニーズにきめ細かく対応する
ことが不得手ですから、市民のやる気、に期待
し尊重するようになっていきます。その実行・受
け皿となるのは町内会です。安心して暮らせる
まちにするためには行政に頼ることなく自ら
が知恵を出し汗を流すことが肝要です。町内会
を統治の組織ではなく、真の自治組織とするこ
とが求められています。

(福の神)

◆着任あいさつ

美鈴が丘駐在所

木元警部補

4月1日、美鈴が丘駐在所所長として着任いたしました木元でございます。美鈴が丘団地の安全・安心のために精一杯頑張りますので、皆さん宜しくお願いします。

さて4月27日、隣接する石内東地区へ、アウトレットモールとレジャー施設を複合され

た大型商業施設が新たに開店するなど、美鈴が丘団地の周辺の環境

は大きく変貌しており、車・人の流れが大きく変わることによる交通事故の増加や治安悪化も懸念されます。

美鈴が丘駐在所勤務2名、パトロールの強化に努め、一件でも事件・事故を減らしていく所存ですので、ご支援、ご協力の程宜しくお願いします。

◎次世代をつなぐ元氣 美鈴っ子 ⑥⑧

西4丁目の元氣な3姉妹を紹介します。

うちの三姉妹の紹介です。長女の瑞貴（みずき・中1）は2人の妹たちの憧れの的。妹たちのお手本になってね！次女の玲菜（れいな・小3）と三女の真璃（まりか・小1）は歳も近くいつも仲良しでありライバル同士でもあります。3人揃うともう大騒ぎです。近所の皆様、いつも騒々しくて申し訳ありません。みんな元氣に仲良く育っていったらね！



両親より

◆絵本のお部屋へ

ようこそ 4/20

（共催：まざあ）公民館

絵本を手に取り親子が心地よいひと時を過ごした。お母さんたちの子育てサロンとして情報交換の場にもなっていた。読み手の優しい柔らかな声に、いつの間にか子ども達の気持ちに絵本に入り込み、読み手の思いを凌ぐほどの率直な感情を表していました。

さらに、百冊以上の絵本や画集が展示され、大人も自由に手に取り、思い思いに本の世界に浸ることが出来た優しくて楽しいひと時でした。参加親子18人。

（松川）



親子で絵本を手に楽しいひと時

◆竹の子掘り 5/10

恒例の竹の子掘りに

小学生3・4年生160人が参加。今年は少し早いのか芽が出ている竹の子が少なく皆心配顔。まず最初に恵みの森武村さんから怪我をしない様にと注意の後、竹の子掘りに挑戦。皆の頑張りで心配を吹き飛ばし全員収穫でき満足顔。自然の中で美鈴が丘ならではの楽しい思い出を作ることが出来た。

（Y）



全員竹の子を掘り当て大満足

◆花と苗の交換会

公民館 5/16

春／秋恒例の交換会が開催された。午前10時館長の挨拶と秒読みで交換会開始、集まった花好きは約35名、花と苗の名前を質問した

■自然観察会

4/26・5/17・5/22

各団体の鈴が峰山での自然観察会が実施された。4/26及び5/17日には登山・自然観察会が開催され、緑花文化士の富沢先生が植物の自然の営みを丁寧に詳しく解説。22日にはサムエル美鈴が丘こどもの園の園児たちが元氣よく登山を楽しんだ。池の上には今年もモリアオガエルの卵が、鬼が城山頂にはさ



あっという間に全て交換

さユリが満開。自然の恵みを満喫。（青木・上木・山本）



樹木だけで150種以上の豊かな山（4/26）



満開のヤマボウシの前で記念撮影（5/17）



全員で記念写真（5/22）



ササユリが満開（5/22）

まちづくり協議会 5月定例役員会報告(5月6日)

①地区社協

・5/28日帰り旅行バス3台、118名で実施。

・認知症カフェ・認知症の方、家族、予防を必要とする方、様々な関心を持っている方を対象に認知症カフェをオープンをする。開催場所は、ら・ふいっとハウスにて夏頃開設予定。

・安心カード・世帯者名簿を全戸配布しますので速やかに更新してもらいたい。

②公衛協

・クリーンキャンペーン5/13に実施予定。雨の時は5/20に実施予定。

③防犯組合

・青パトロールランブ3基を追加購入。4基は各町内へ、残る1基は公民館1階倉庫に保管。各町内活動で利用の時は森野組合長に連絡の事。

④カレンダー進捗

・カレンダーの形態は決定した。現在2社に見積りを依頼中。8月には試作品を作成する予定。

⑤りんりんタクシー運営委員会

・配布予定の運営状況の広報誌(5月上旬に全戸配布済み)に関しての質疑応答。

○この様な資料を配布しても読まない。町内会費を払っているのにそれ以上に負担する事に理

解が得られない。

↓理解頂けなければ何度でも説明に伺う。今後の課題として寄付金だけに頼るのでなく多様な方法を検討するつもり。

○何人乗れば赤字が解消するのか?採算ラインを判り易く表示する必要がある。

↓そもそも該制度は黒字化を想定した事業ではなくコミュニティ振興策としたものである。ただ現在の40人が60人程度になれば採算ベースになると予想。

⑥その他

★折りづるみこし報告・みこし3基でフラワーフェスティバルに参加。総勢約133人余(子ども46人、高校あすなろ会23人)で平和大通りを行進。

★子ども110番の家登録調査・辞退者や既に転居済の家を調査し、新規登録世帯を含め更新する。

★まちづくり基金の利息の取り扱いに関して・利息の計上を事務作業簡素化の為に一般会計に算入する提案があり承認された。

★公民館まつり・今年度は11/24(土)・25(日)に開催予定。まち協の活動を町民の皆さんに知って頂く絶好の機会なので、各町内会・各部・各協議会活動を展示したい。

◆りんりん下校 5/22

美鈴が丘小学校

緊急時に備えてりんりん下校が行われた。約40名の地域サポートの方々に加え、青パトも複数で参加し児童を危険から守る体制で臨んだ。楠橋校長は「新潟の女児殺害事件を教訓に学校・家庭・地域が連携して児童を危険から守る取り組みに力を入れる」と挨拶。上級生と一年生はペアになり見守られながら下校した。子供たちが安心して登校し、外で遊ぶことができる地域である為に多くの方の見守りと協力が必要であると感じた。(藤井)



青パトも参加し集団下校

◆佐伯区防犯連合会会

長・佐伯警察署長

共同での防犯功労表彰。

山口 葵さん(東2)

森野 貴雅さん(東5)

◆まちづくり協議会

からのお知らせ

30年記念誌は大切に保管されています。どうでしょうか?平成21年3月に発行し、各世帯に配布いたしました。それから10年。更なる記憶と記録が積み重なっています。次の世代に繋いで行く為に40年記念誌を発行します。(平成31年3月発行予定)この度は各世帯に配布はいたしません、希望の方には販売をいたします。

美鈴が丘40周年記念誌 発行準備スタート!!

皆様の「ちょっとだけのお手伝い」募集中

連絡先 082-928-9012(澤田)
082-927-9720(永瀬)

美鈴が丘まちづくり協議会
40周年記念誌編集室
編集長 澤田 俊子



おくやみ

2/14 藤村 精治様(95) 東一
ご冥福をお祈りします。

6/8(金) 健康講座
(公衛協)

6/16(土)

美鈴が丘高校
文化祭&献血
6/21(木) 健康講座
(公衛協)

7/8(日)

町内卓球大会
(学区体協)

7/13(金)

健康講座
(公衛協)

8/4(土)

夏祭り
9/2(日)

町内グラウンド
ゴルフ大会
(学区体協)

きさらぎ旬会

◎今月の一句
気晴らしに海を

見ている夏帽子
摩耶子

広報みすず
第452号
発行 編集
発行 美鈴が丘まちづくり協議会広報部
発行日 平成30(2018)年6月8日

